お取引先のみなさまへ

お預かりする個人情報を、確実にお守りするために

当社では、金属の買い取りの際にお客さまの身分証の写しなどをお預かりし、社内の取引記録システムで管理しています。お預かりした大切な情報を外に出さないために、当社が行っている対策をご紹介します。

なぜ身分証をお預かりするのか

法律で、本人確認とその記録の保存が義務づけられています

2026年6月1日に全面施行された「盗難特定金属製物品の処分の防止等に関する法律」（金属盗対策法）により、銅を主とする金属くずを買い受ける際は、お取引相手の本人確認を行い、身分証の写しを含む記録を3年間保存することが求められています。お預かりした情報は、この法令上の目的のために管理します。

3つの柱で守っています

01　情報そのものを守る

身分証は、外から届かない場所に保管

非公開の領域に保管
インターネットから直接たどれない場所に置き、システム以外は読み出せません。

マイナンバーは取得しません
マイナンバーカードは表面のみお預かりし、裏面の個人番号は記録しません。

パソコンに画像を残しません
身分証の画像は、閲覧した端末に保存されない設定です。

不要な控えを残しません
入力のやり直しなどで生じた一時ファイルは、自動で消去します。

削除したデータは完全に消去
取り消した記録のファイルは、一定期間をおいて完全に消去します。

AIの学習には使われません
読み取りに使うAI（Google Gemini）は有料契約で、内容は学習に使われません。

02　入口を守る

見られるのは、ログインした担当者だけ

IDとパスワードで確認
ログインしていない状態では、情報を一切表示しません。

不正なログインを自動で停止
何度もログインに失敗すると、一時的に受け付けを止めます。

通信はすべて暗号化
画面とサーバーのやり取りは、暗号化された通信（https）だけです。

社内の他のシステムと分離
ログインを独立して管理し、別のシステムからは入れません。

なりすまし操作を遮断
このシステムの画面以外からのデータ変更は、受け付けません。

パスワードを記録に残さない
入力したパスワードが、閲覧履歴やサーバーの記録に残りません。

03　記録と点検

操作を記録し、定期的に点検

操作の記録
誰が・いつ・どの記録を作成、変更、削除したかを残しています。

毎日のバックアップ
業務終了後に毎日バックアップを取り、記録を失わないようにしています。

変更前の自動点検
システムを変更するたびに、300項目を超える自動テストに合格してから反映します。

定期的な総点検
2026年11月にシステム全体を点検し、見つかった課題に優先度の高いものから対応しています。

個人情報の取り扱いに関するお問い合わせ
前田金属工業株式会社
〒190-0023 東京都立川市柴崎町6-19-28
TEL 042-523-2411
受付 8:00〜17:00（日曜・祝日・第1土曜を除く）